

ふじあざみ

Mt. FUJI SABO
news

No.
117

令和3年4月

【特集】

富士山と桜島の火山灰を 比較した走行体験

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

富士山と桜島の火山灰を比較した走行体験を行いました!

市町村・警察等の多くの方々にご参加いただき、富士山噴火時の降灰が車の走行性に与える影響について走行体験を行いました。これに加えて、火山噴火時の緊急調査(降灰量調査・浸透能試験)などの実地演習も行いました。一部の方々には新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、web配信にて訓練を視察頂きました。



■降灰量調査

火山噴火直後の降灰量調査では、天候等次第でヘリコプターによる調査が実施できないことが想定されるため、実際に火山灰を採取して降灰量(降灰厚さ)を調査します。降灰量の情報は各市町村の避難情報を支援するため提供を行います。

■浸透能試験

降灰があると、雨水が浸透しにくくなり泥流や土石流が発生しやすくなります。このため、火山灰の堆積状況の違いによる浸透性の違いを確認しました。

【特集】富士山火山噴火対応演習～火山灰での車両走行体験～

■走行体験の目的

降灰(細粒な火山灰)があると、車の走行に影響があると考えられます。今回は火山灰上を走行し、自動車の走行性能の課題等を確かめるとともに、避難対応について検討を行う機会としました。

■走行体験の概要

参加者の状況



●開催日：令和3年2月19日

●参加機関：国土交通省のほか、市町、県警察、富士山火山防災研究センター等の9機関が参加しました。

■火山灰での走行体験

●走行車両と火山灰の条件

- ・富士山スコリアと桜島火山灰の2種類について走行体験を実施しました。
- ・勾配は、緊急調査で林道を使用することを想定し、12%勾配としました。
- ・降灰厚さは、降灰後土石流の危険性が高くなると言われる10cmと半分の5cmを用意しました。
- ・デモ走行ではFF車、FF車(チェーン付)、4WD車を用意して、降灰厚10cmでの駆動方式による登坂の違いを確認しました。
- ・デモ走行後は各参加機関の車両で走行体験していただきました。

※富士山スコリア：富士山噴火時の噴出物で赤みがかった軽石。
※FF車：エンジンと駆動輪が車体前方にある車。4WD：前後の車輪が駆動する車。



桜島火山灰



4WD車

●FF車：登坂に時間がかかりました。
●4WD車：比較的容易に登坂できました。



富士山スコリア



4WD車

●FF車：登坂に時間がかかりました。降灰厚10cmでは登坂できませんでした。
●4WD車：比較的容易に登坂できました。

■火山灰がウェットな状態での走行体験(桜島火山灰のみ)

FF車(ワンボックス)
降灰厚5cm、勾配12%



桜島火山灰



4WD車
降灰厚5cm、勾配12%

●FF車：登坂に時間がかかり、軽自動車・ワンボックスでは登坂できませんでした。
●4WD車：比較的容易に登坂できました。

●体験の結果

- ・桜島火山灰と富士山スコリアは車種によって走行しやすさが異なっていた。
- ・4WDの車は比較的容易に登坂できた。
- ・FF車は登坂に時間がかかり、軽自動車・ワンボックスでの登坂は困難であった。
- ・降灰厚が深くなるほど走行性は悪くなった。
- ・雨などにより火山灰が濡れた状態の走行性は通常時より悪化した。
- ・参加者からは、「一般車両の場合スリップする可能性が高いため、避難対策に注意する必要がある」といった意見がありました。

走行体験の映像を
QRコードから
見ることができます！



■降灰の際に注意すべきこと

●避難方法

- ・国が実施するヘリコプターによる降灰範囲の調査や緊急の降灰量調査の情報は市町村へ伝達されます。
→各市町村から出される避難情報に従って行動し、降灰の厚さが深い所は避難経路として利用しないようにしましょう。
- ・降灰が確認され、避難する際には4WDの車が推奨されます。
→走行体験からも分かる通り、2駆(FF・FR)では安定した走行は困難である可能性が高く、スタッフすれば他の避難者に影響を与える可能性があります。

●二次災害の発生

- ・降灰状態で雨が降ると、地面に雨が染み込みにくくなるため、少量の雨でも土石流発生の可能性が非常に高くなります。【土砂災害(特別)警戒区域・土石流】の範囲に住む方及びその地点を通過する方は、いつも以上に土石流に注意することが必要です。また早めの避難を心がけましょう。

土砂災害警戒区域の範囲については静岡県・山梨県が公開している土砂災害警戒区域マップで調べることができます。

【静岡県】



【山梨県】



土砂災害から命を守るために

■防災意識を向上させ、いざというときの避難に備えましょう!!

静岡県と山梨県では、頻発化、激甚化する土砂災害から県民を守るため、様々な取組を行っています。その一つとして、標識等で「土砂災害警戒区域」の現地表示や、インターネットを利用した周知により、早めの避難を促す取組があります。身近にある危険な場所を知り、いざという時に、速やかな避難ができるように日頃の備えをしておきましょう。

【現地表示の一環として取り組む電柱広告】



「ふじのくに静岡県庁
チャンネル」で公開中!



【山梨県土砂災害警戒情報システム】



富士山クイズ 第3弾

富士砂防事務所のホームページでは、富士山に関する様々なことを紹介しています。
その中には富士山に関するクイズもあります！

前回に続き、その中から3問を紹介するのでぜひ挑戦してみてください！

【問1】富士山の火口は、山頂だけでなく山腹や山裾にもあります。

どのくらいの数の火口があるでしょうか？

A : 20以下 B : 50位 C : 70以上

【問2】当事務所にて観測した富士山頂の積雪記録の最高はどのくらいでしょう？

A : 約30cm B : 約3m C : 約13m

【問3】富士山の標高は何mでしょうか？

A : 3,668m B : 3,776m C : 3,886m



富士砂防事務所
マスコットキャラクター
「アマツバメ」



富士砂防事務所HP

ヒントは
ホームページを
探してみてね！

富士砂防事務所からプレゼント

砂防カードをご希望の方にお送りします！ ※必ずご本人様がお申し込み下さい。(児童の場合は保護者)

応募方法

①申し込みについて：返送先を記入し、「84円切手」を貼った
返信用封筒を同封のうえ、下記宛先まで郵送でお申し込みください。

富士砂防事務所 調査課宛て

〒418-0004

静岡県富士宮市三園平1100

②応募期間：令和3年4月1日～6月30日



■砂防カード

富士山周辺の人・もの
を土砂災害から守るため
の様々な施設がカードに
なりました。

注意事項

写真はイメージです。実際の内容と異なる場合があります。

発送に時間を要する場合がありますがご了承ください。

ご本人様以外の申し込みは無効とさせていただきます。(児童の場合は保護者)
いただいた個人情報は砂防カードの発送管理以外の目的では一切使用しません。

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

編集作成

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544-27-5221 FAX 0544-27-8759
E-mail cbr-fujisabo@milt.go.jp 担当／用地課

- 富士宮砂防出張所
- 由比出張所
- 富士山北麓火山防災ステーション

〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立1204-1(山梨県道路公社富士山有料道路管理事務所1階)

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「現場見学・出前講座」の欄をご覧ください。

★ふじあざみのバックナンバーは富士砂防事務所HPから
ご覧いただけます。

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>



@cbr.fujisabo



@milt_fujisabo

協力：静岡県 砂防課
山梨県 砂防課

TEL 0544-54-0236
TEL 054-355-1205

TEL 0555-83-5720

「ふじあざみ」は土砂災害
による死者ゼロを目指し、
土砂災害への理解を深め、
地域防災力を高めること
を目的として発行してい
ます。

また、掲載内容等は、
発行時点のものであり、今
後、内容に変更等が生じ
る場合もあります。